

学校施設の防災力強化プロジェクト

- 平成23年3月の東日本大震災で地震や津波により学校施設に甚大な被害が発生したこと等を受け、同年7月に、学校施設の安全性、防災機能強化の方策を緊急提言。
- 学校施設の防災力強化の取組が一層促進されるよう、緊急提言等に沿ったテーマを具体的に指定し、各地域の特性等を踏まえた実証的研究を実施。



事業の概要

- 緊急提言等を踏まえ、①非構造部材の耐震対策、②津波対策、③避難所としての防災機能の向上、④ソフト・ハード一体となった学校防災をテーマとした実証的研究を地方公共団体等に委託。
- 専門家や学校設置者、防災部局、学校関係者、地域住民等の協働による検討体制(協議会)を確立した上、地域の特性等を踏まえた効果的な取組について研究する。
- 研究後、様々な地域で活用され学校施設の防災力強化に資する取組が進むよう、取組モデルを全国に発信するとともに、必要に応じ、調査研究等の検討に反映する。



事業テーマ・事業内容

①非構造部材の耐震対策：屋内運動場の非構造部材の耐震点検の実施、改善計画の策定を支援

- i) 域内施設の老朽状況等を踏まえた点検優先度の検討、ii) ガイドブックに基づく屋内運動場の天井材等の耐震点検、iii) 点検結果を踏まえた対策優先度の検討と課題の整理、iv) 対策方針・方法等を示した改善計画モデルの提案

②津波対策：津波被害が想定される地域における学校施設の立地・安全対策の基礎的検討を支援

- i) 今回の津波被害状況や津波想定、学校施設の立地状況、地域特性等の現状と課題の整理、ii) 現状と地元の意向等を踏まえた対策(高台移転や避難経路の整備、高層化等)の基礎的検討、iii) 対策モデルの提案

③避難所としての防災機能向上：学校規模や地域特性等を踏まえた防災機能強化策の検討を支援

- i) 避難所の規模や地域特性等の現状と課題の整理、ii) 現状と地元の意向等に応じて必要となる防災機能の整理、iii) 防災関連設備の特性やコスト等を踏まえた効果的な対策モデルの提案

④ソフト・ハード一体となった学校防災：地震・津波災害に対応した安全点検や初期対応等の検討を支援

- i) 学校教職員等の協力による安全点検の実施、ii) 施設の安全性等を考慮した避難訓練・評価、iii) 避難所としての学校施設利用計画の検討、iv) 防災マニュアル等への反映 (いずれもソフト・ハード一体的な検討が条件)

成果：地域特性等に応じた防災力強化の取組モデルの提示
効果的な取組モデルを参考にした検討・対策の加速

学校施設の防災力強化による安全・安心の確保